

誰もが住みやすい あんしんのまち コーディネート事業

事業報告書 別冊
(平成29年度実施活動分)

平成30年3月



SAPP_{RO}

取組事例の紹介①

中央区 南円山旭山町内会（平成 28 年度から継続）

誰もが住みやすいあんしんのまち

コーディネーター事業にて支援した内容

平成 28 年度に南円山旭山町内会とコーディネーターが共同で作成した個別避難計画書について、作成状況等を共有し、今後の取り組みについて継続して検討しています。この個別避難計画の様式を平成 29 年 3 月の報告書冊子に掲載していますので、他の町内会でも参考にさせていただきたいと思います。

取組事例の紹介②

厚別区 厚別中央振興会（平成 28 年度から継続）

誰もが住みやすいあんしんのまち

コーディネーター事業にて支援した内容

平成 28 年度に引き続き、秋季防災訓練に参加させて頂きました。

厚別中央振興会は、6 つの区分町内会で構成されていますが、6 つの町内会合同で要配慮者の安否確認活動を実施しました。日頃から情報共有が綿密になされており、実践的な訓練を重ねているため、どの町内会も非常にスムーズでスピーディーに安否確認が行われていました。

安否確認終了後に当事業より、障がいのある方の日常の不安、支援に関する留意点等をご助言させて頂きました。



取組事例の紹介③

清田区 絆の会

地域の概要

絆の会は、全国各地で津波、地震、洪水等の大災害が発生していることから、平岡9条2丁目にお住まいの有志の方々により、住民が安心して暮らせる地域社会を構築するために結成された会です。昭和56年に宅地が造成され、現在は約50軒がある地域で、最近は高齢の方の割合が高くなっています。

取組体制

絆の会では、住民が安心して暮らすためには、「向こう三軒両隣」がお互いに、何気ない気遣いの心を持ちあわせることが大切だと考えています。

12名（平成29年11月現在）の有志の方々に構成されており、災害時の安否確認や避難支援の活動を行うとともに、日常生活で不便（例：ゴミ出しや落雪の除去等軽微な作業）を感じている世帯の手助けなどの活動を行っています。

誰もが住みやすいあんしんのまち

コーディネート事業への依頼内容

- 町内の要配慮者（車椅子利用・失語症の方）に関する災害時要配慮者避難訓練を検討しており、計画の配慮点などを教えてほしい。
- 当事業の内容について教えてほしい。

誰もが住みやすいあんしんのまち

コーディネート事業にて支援した内容

まず、関係者打ち合わせに参加させて頂きました。

打ち合わせには要配慮者の関係者（ケアマネージャー、病院、デイサービス、包括）、行政職員（区役所の活動推進担当係長、地域安全係、保健支援係）の方も参加されていました。

普段、車椅子で生活されている要配慮者を災害時に安心・安全に避難支援するため、近隣住民にはどのような活動が必要か、全員で検討しました。

その中で、要配慮者の生活においてお手伝いを必要としているポイントを整理・共有し、避難訓練の際には具体的な介助に関しての実技付のミニ講座を行うこととしました。

避難訓練当日は、病院スタッフから車椅子の利用方法、要配慮者のお手伝いのポイント等を具体的に教えていただきました。

介助経験の少ない参加者の方も自信が付き、要配慮者の方もとてもリラックスして、安心した様子で参加することができていました。

実際に要配慮者の方に対する避難訓練を実施できているところは多くありません。絆の会の取組は、一般的な避難訓練ではなく、個別の要配慮者のための避難訓練を実施されたことに特長があります。このような取り組みが今後ますます求められると強く感じました。

後日、当事業より個別避難計画のモデル案をご提案させて頂きました。



ミニ講座：片麻痺の方の移動介助の様子



避難訓練：車椅子に乗車したまま段差を降りる介助の様子



取組事例の紹介④

手稲区 手稲千代ヶ丘北町内会

地域の概要

手稲千代ヶ丘北町内会は、手稲本町4条2丁目から5条2丁目を中心に構成される町内会です。世帯数は約400世帯となっています。団地、戸建て住宅が多い地域です。

取組体制

町内見守り活動を行っており、日々の見守りの活動の他に町内を5ブロックに分けて役員・班長で月に一度「見守り活動巡回」を行っています。

また、災害時の要介護者や障がいのある方に対する「災害時支え合い活動」の取り組みも積極的に進めており、独自に「災害時支え合い活動取り組みステップ」（別添）を作成し、その計画をもとに町内会での取り組みを進めています。この活動ステップを一覧表にした取組は、これから取組を開始する町内会にとって大変参考になるモデルケースだと考えています。

誰もが住みやすいあんしんのまち

コーディネート事業への依頼内容

- 避難行動要支援者名簿の提供を受けたため、避難支援者等を対象に障がいのある方の支援について教えてほしい。

誰もが住みやすいあんしんのまち

コーディネート事業にて支援した内容

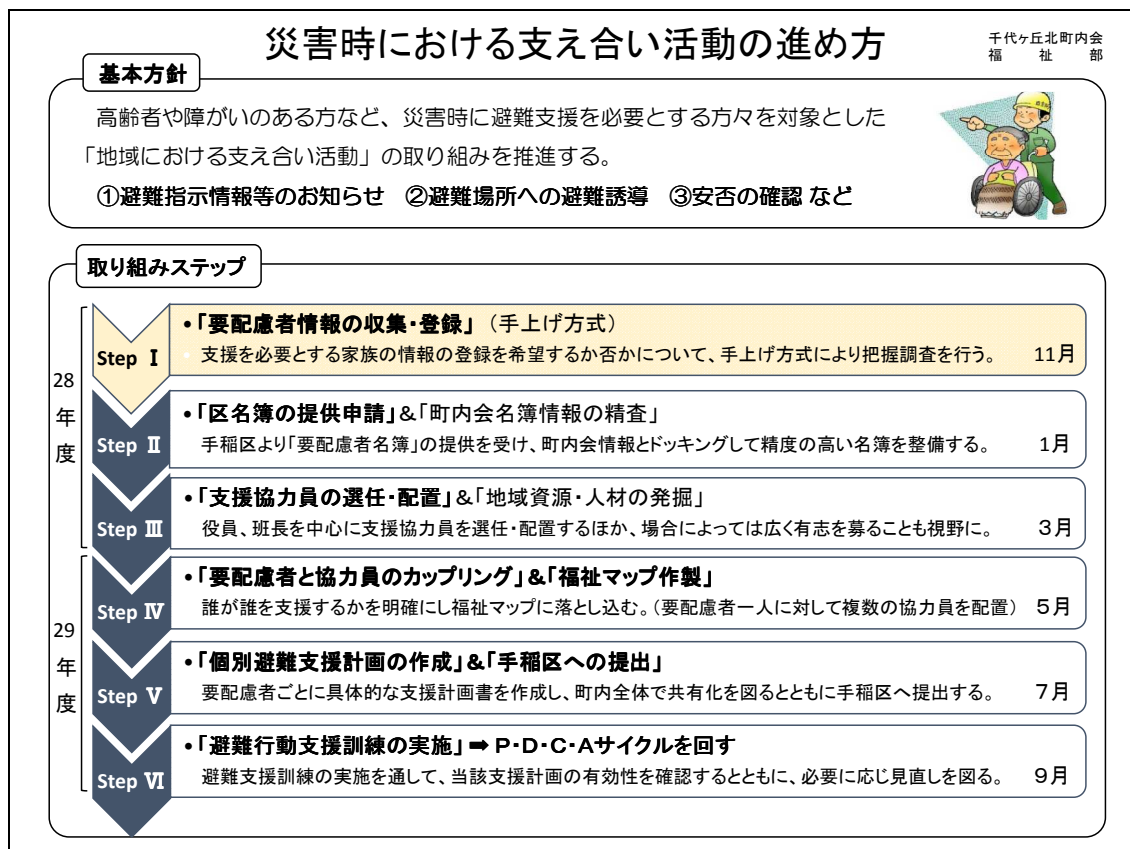
拡大役員会にお招きいただき、障がいのある方への接し方、留意点についてお話しさせていただきました。

町内会として「見守り活動の実績や認知症サポーター研修の受講等により、高齢者への対応は一定程度慣れているが、障がいのある方への対応は未習熟な状態だったので、大変参考になった」とご感想を頂きました。

後日、避難支援の活動を進める中で「支援者が困っている事例」についてご相談頂きました。町内会としては支援が必要だと思っている方がいるが「そっとしておいてほしい」と関わりを拒否されているとのことでした。

当事業からは「急がない」姿勢で「気にしていますよ」という発信をしつつ「何時でも支援をできる体制を検討しておく」等のご助言させて頂きました。現在は積極的な支援を望まない方でも、日常の町内会との関わりの中で、少しずつ気持ちに変化がでてくることを期待しています。

手稲区 手稲千代ヶ丘北町内会 災害時支え合い活動取り組みステップ



さっぽろ地域づくりネットワーク ワン・オールとは

この事業を実施するコーディネーターは、札幌市の基幹相談支援センターである「さっぽろ地域づくりネットワーク ワン・オール」に配置されています。ワン・オールの主な仕事は、障がいに関わる相談支援機関等の後方支援と地域生活支援の体制づくりです。たくさんの方々と協働しながら、誰もが安心して生活できる地域づくりを推進しています。

日頃から障がいのある方に関わり、相談支援専門員として活動しているコーディネーターが、町内会・自治会や障がい福祉サービス事業所を支援いたします。

（コーディネーターは、相談支援専門員のほか、社会福祉士等の資格を持っています。）

ワン・オールのホームページはこちらです。

<http://one-all.net/>

（「札幌 ワン・オール」で検索）

コーディネーターの支援を希望される方は、以下の担当までご連絡ください

さっぽろ地域づくりネットワーク ワン・オール

電話：011-213-0171

ファクシミリ：011-213-0172

メール：sapporo@one-all.net

